

学校教育目標「かしこく やさしく たくましく」

「かしこく やさしく たくましく」に込めた「思い」を知っていただければ幸いです。
長文ですが、よろしくお願ひします。

本校の「校訓」は「正しく 強く 明るく」です。

教育の「目的」は、幸せな人生を送るために、「人格の完成と、よき社会人の育成」です。

「目的」を達成するためには「目標」が必要です。「目標」のシンボルとして、「校訓」があります。校訓には、開校当初の先人の願ひが込められています。歴史と重みがあります。ちなみに、多くの学校で「知・徳・体」が3本柱となっています。

そして、その願ひをさらに具体化したものとして、「学校教育目標」を作ります。子どもたちの様子をよく観て、時代の流れを読み、諸状況を俯瞰して、さまざまな見地から考察して設定します。

私たちの学びの場は、再編成により、令和7年度8年度9年度の3年間を経て、令和10年4月から「よつば小学校」になります。再編成は「目的」や「目標」ましてや「ゴール」ではありません。再編成は、あくまで「手段」であり、子どもたちの人生はその先もずっと続いていきます。幸せな日々を送り続ける力（「生きる力」：弥富市教育指針より）を育てたいものです。

これらのことを視野に入れて、本校の「学校教育目標」を、「かしこく やさしく たくましく」とさせていただきます。

自分も周りも大切に作る心、多様性と寛容さ、親和と調和の精神は、子どもたちにとって一生ものの大事なものだと考えています。また、弥富市の教育指針「生きる力」も鑑みしました。

「正しい」ことは一つではなく、たくさんあります。正しさは一つだと思い込むと他者との勝ち負けの勝負になりがちです。勝負をすると敗者が生まれます。真の**かしこさ**が必要です。

「強さ」にもいろいろな強さがあります。ときには弱さを選択し、逃げることを選ぶことも大切な「強さ」だと思います。そして、負けを受け入れたり、負けよりも大事なことを選んだりする強さもあると思います。また、他者を思いやる**やさしさ**も、強さがあるからこそだと思います。

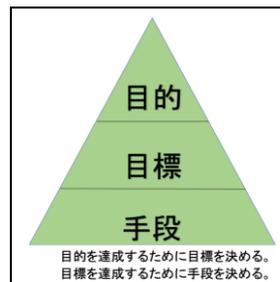
「明るさ」も、私たちは人間ですから、常に明るくあるのは無理があると思います。暗さがあるからこそその明るさでもありますし、暗さにも価値があると思います。暗さと明るさの中で、自分らしさを確立する**たくましさ**を意識したいものです。

「かしこく やさしく たくましく」という「ものの見方、考え方」は、きっと子どもの糧となるのではないのでしょうか。

先人の残してくださった**願ひ**を、広く深く多様性をもたせて受け継ぎ、大藤小学校学区や未来の友だちと、共に、その**存在そのものを大切に合う子どもたち**を育てたいものです。（**共育**）

そのために、目指す方向をそろえ、思いを響かせ合う日々を過ごしたいと思っています。（**響育**）**子ども自身が**、自分を健やかに成長させるための根っこと幹を確かに育てていければ幸いです。

関わりの中では、摩擦や誤解等もきっと生じるでしょうが、「**子どもの健やかな成長**」のために、**親和的に楽しく協力する**日々を過ごしたいと願っています。よろしくお願ひいたします。



では、令和7年度、弥富市立大藤小学校は、「共育」と「響育」で、
「かしこく やさしく たくましく」よろしくお願ひいたします。

